

## せいめい望遠鏡 京大時間観測の公募

京都大学大学院理学研究科附属天文台 岡山天文台では、せいめい望遠鏡を用いた、京大時間内での観測提案を下記のとおり募集します。外国人研究者のホストの方は、必要に応じてお伝えください。

2019年10月15日（2019年10月29日改訂）

京都大学大学院理学研究科附属天文台長 一本 潔

### 記

1. 観測利用期間と観測機器・観測モード：

2020年(令和二年)1月4日～6月21日の間の約60夜

**KOOLS-IFU**

クラシカル観測モード、ToO観測モード（観測中の観測者または申請グループメンバーが観測する） なお、今期も共同利用時間へのToO発動はできません。

2. 申込資格者：申請時に以下の立場にある人

宇宙物理学教室・附属天文台の教員（含特定教員）

宇宙物理学教室・附属天文台所属の院生

宇宙物理学教室・附属天文台所属の研究員

宇宙物理学教室・附属天文台受け入れの白眉教員

連携教員のうち岡山の教員（泉浦・前原両氏）

客員教員（佐藤氏）

3. ステータスレポート：

望遠鏡、観測装置の状態は、せいめい望遠鏡共同利用 Web ページ（<http://seimei.nao.ac.jp/openuse/>）をご参照ください。

4. 申込に必要な書類：

せいめい望遠鏡を用いた、国立天文台の行なう共同利用公募の観測申込書(既定書式、LaTeX形式もしくはMS-Word形式で配布)および研究課題の科学的意義を記した文書(概ね自由書式)、観測天体の積分時間を計算した結果（KOOLS-IFUのWEBページ<http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/~kazuya/p-kools>のExposure Time Calculator (ETC) ページのコピー)の3種類の書類を用意すること。観測申込書と科学的意義の記入要領については、共同利用の要領を参照のこと。科学的意義については、今期はA4で2ページ（日

本語でも英語でも可)。観測申込書と科学的意義は最終的には PDF にして下さい (下記)。

5. 書類の提出方法：電子投稿のみ

観測申込書(PDF)、科学的意義(PDF)、ETC のコピー (PDF 等電子化したもの) を電子メールに添付して、[seimei-kyoto@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:seimei-kyoto@kwasan.kyoto-u.ac.jp) へ送ること。

6. 申し込み締切日：

2019 (令和元) 年 11 月 15 日 (金) AM10 時

7. その他：

(a) 望遠鏡・装置ステータスについては、

<http://seimei.nao.ac.jp/openuse/call-for-proposals/>

をご覧ください。また、KOOLS-IFU の Exposure Time Calculator(ETC)は実測に沿ってアップデートされていますので、必ず再計算してください。

(b) 申し込まれた課題に対しては、京大内 TAC による評価を行い、観測日程は、せいめい小委員会と京都大学とによる協議・調整を経て、最終的に京都大学の責任において編成されます。

(c) 今期も、せいめい望遠鏡と観測機器はリスクシェアでの利用となります。そのため、状況次第で観測がキャンセルになったり、割り当て時期に偏りが生じたり、現時点での予想ステータスと実際のステータスが異なったりする可能性があります。あらかじめご承知おき下さい。

(d) ToO 観測を提案される場合は、観測実施体制を十分検討の上、申請してください。

(e) 研究代表者が大学院生の場合は、指導教員による内容チェックを受けておくことを強く推奨します。指導教員の承諾書は不要です。

公募等の問合せ先

太田耕司 (TAC 委員長)